

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和4～6年度)	事業の成果 (令和4年度)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
1	○	国際観光推進事業費	将来的なインバウンド需要の回復を見据え、外国人観光客の受入体制の整備や、効果的なプロモーション活動などを展開し、インバウンド誘客による地域経済の活性化を図る。	台湾向け誘客プロモーションの実施 ・ SNS・WEBサイトでの情報発信 ・ 現地PRイベントの開催 ・ FAMツアーの開催 欧米豪向け誘客事業の実施 ・ 旅行商品の開発と販売 ・ 外国人向け旅行サイトを活用したPR ・ 「国際観光客サポートセンター」の運営	台湾を中心とした東アジア向けのプロモーションに継続して取り組む。欧米豪の富裕層向けのプロモーションに取り組み、アフターコロナのインバウンド需要の回復を目指す。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	195
2	○	砂の美術館管理運営費	本市を代表する観光施設「鳥取砂丘砂の美術館」において、世界トップレベルの砂像の制作・展示をはじめ、展示テーマに合わせた集客イベントなどを実施し、砂丘周辺への誘客促進を図る。	砂像制作等に関する事業の実施 ・ 砂の美術館総合プロデュース業務の委託 ・ 砂像制作用の砂精製業務の委託	集客イベントの実施、SNS等による広報などを展開し、更なる観光振興および地域の活性化を目指す。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	199
3		砂丘管理事業費	鳥取砂丘の受入環境を整備し、来訪客に対するおもてなしの向上を目指す。また、鳥取砂丘未来会議など関係団体と連携を深め、保護保全や利活用に取り組む。	・ 砂丘海岸の漂着ゴミの処理 ・ 砂丘及び周辺の景観保全、利活用 ・ 連休時における砂丘周辺道路の渋滞対策 ・ 砂丘西側での渋滞対策の検討	「日本一のすなば」魅力まるごと公募イベントを通じ、砂丘内の周遊性向上に取り組むとともに、砂丘西側整備に併せ、西側を含む砂丘全体の渋滞対策に取り組む。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	202
4	○	広域観光開拓・推進事業費	本市を含む麒麟のまち圏域1市6町が連携し、地域連携DMO「麒麟のまち観光局」の運営や活動に対して支援を行い、圏域への誘客や観光消費額の拡大による地域経済の活性化を図る。	・ 圏域内周遊促進を目的としたインスタグラム投稿キャンペーン事業を実施 投稿数439件 ・ 観光情報連携（鳥取市観光サイトへ6町情報を掲載）令和4年7月から公開開始 ・ 勉強会（ウェブマスター会議）の実施 令和4年7月6日以降7回開催 ・ 「食」に関するコンテンツ強化 Googleプロフィールへ156店舗が登録 ・ DMO独自アンケートの実施とマーケティング分析 回答総数2,714件 ・ 山陰海岸ジオパークエリアを管轄する3つのDMOが連携し行う周遊ルートの造成や販売、ウェブサイト制作 販売数21本、集客実績1,800人	鳥取砂丘のみの観光に留まる通過型観光から滞在型観光への転換とアフターコロナにおける観光需要の早期回復をめざし、マーケティング分析による効果的な販売促進を行うための観光DX導入に取り組むことで、観光消費額の拡大を図る。	企画推進部	観光・ジオパーク推進課	202

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和4～6年度)	事業の成果 (令和4年度)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
5	○	観光産業育成支援事業費	観光事業者が取り組む誘客活動や、受入環境の整備などに対し支援を行うことで、本市の観光産業の育成及び観光振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・鉱泉源維持管理事業（施設整備・改修等）への支援 2件 ・観光客誘客イベント事業への支援 5件 ・観光商品開発・販路開拓事業への支援 1件 	本市の観光振興を進める上で、アフターコロナにおける観光需要の変化に合わせた受け入れ態勢の強化が重要となる。観光事業者に引き続き支援を行うことで、誘客促進及び本市の観光産業の発展を図る。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	203
6	○	山陰海岸ジオパーク事業費	世界ジオパークの再認定審査を見据え、山陰海岸ジオパーク推進協議会や関係府県市町などと連携し、鳥取砂丘をはじめとするジオサイトの保全や、教育、観光など各分野での積極的な活用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオパーク校外学習支援（市内37校（全体の82.2%）、延べ参加児童数1,843名） ・ガイド養成講座を4回実施（延べ参加者数76名） ・ジオパーク看板の情報最新化と老朽化した看板の補修対応 ・山陰海岸ジオパーク推進協議会、山陰海岸ジオウォークへの負担金の拠出 ・多鯨ヶ池の木道と東屋を整備 	令和6年に予定される世界ジオパークの再認定審査に向け、引き続き教育活動や普及啓発、環境整備に努めるとともに、ジオツーリズムの推進など積極的な民間活動の支援を行っていく。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	203
7	○	鳥取砂丘西側整備事業費	将来的なインバウンド需要の回復を見据え、旧砂丘荘・旧青年の家跡地を活用したリゾート型宿泊施設の誘致や、柳茶屋キャンプ場やサイクリングターミナルの新たな活用策の検討を行い、砂丘西側エリアの再整備を図る。	リゾートホテルの誘致に関して、ホテル事業者による各種許認可取得と土地代金等の全額支払いが完了し、土地の引き渡しを行った。 鳥取砂丘キャンプ場（仮称）の管理道の工事及び運営事業者の再公募に取り組み、3施設の一体化が進捗した。	リゾートホテルのブランドの決定及び着工、公募型プロポーザルによる鳥取砂丘キャンプ場（仮称）の運営事業者の決定と開業に向けた手続きを進める。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	204
8	○	観光地等魅力度アップ事業費（コロナ克服・新時代開拓臨時交付金）	白兔海岸周辺や湖山池、吉岡温泉エリアへの誘客促進や滞在時間の延長を意識した取組を進め、エリア一体としての魅力度の向上を図る。併せて、訴求力のある観光資源の写真や動画素材を作成し、広報・誘客プロモーションに活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・白兔周辺エリア うさぎ年に向けスタンプラリーや年越しイベントを実施 ・湖山池周辺 湖山池遊覧船利用促進イベントで179人が遊覧船を体験 ・吉岡温泉周辺 吉岡温泉を拠点としたウォーキングイベント、「ONSENガストロノミーウォーキング」に189人が参加 ・その他 市を代表する観光地をPRする写真、映像素材を制作し、各種プロモーションにて活用。 	アフターコロナで観光需要が高まるにつれて各種PRが活発になるため、新たな観光宣伝素材を活用したPRを強化するとともに、白兔、吉岡、湖山池エリアそれぞれの観光コンテンツをさらに磨き上げ、エリア一体として周遊性、滞在性を高めていく。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	350

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和4～6年度)	事業の成果 (令和4年度)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
9	○	砂の美術館管理運営費（コロナ克服・新時代開拓臨時交付金）	本市を代表する観光施設「鳥取砂丘砂の美術館」において、世界最高レベルの砂像の制作・展示をはじめ、展示テーマに合わせた集客イベントなどを実施し、砂丘周辺への誘客促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営 指定管理者による第14期展示に係る砂像制作等の実施 	集客イベントの実施、SNS等による広報などを展開し、更なる観光振興および地域の活性化を目指す。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	351
10	○	広域観光開拓・推進事業費（コロナ克服・新時代開拓臨時交付金）	圏域の観光体験コンテンツ等をウェブを活用して販売強化することで、観光消費拡大による圏域の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> キャンペーン実施に伴う宣伝広告アソビュー等を通じた割引販売キャンペーンを展開 観光体験コンテンツの割引販売 第1弾：7/1～ 販売実績1,146件 第2弾：7/25～ 販売実績174件 第3弾：10/20～ 販売実績1,107件 	圏域内の体験コンテンツには地域や季節に偏りがあることから、さらなる充実に向けて麒麟のまち観光局が主体的に開発支援を行う。特に、滞在型観光に直結する早朝や夜間のコンテンツ開発に注力する。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	352
11		まちなか観光推進事業費（コロナ克服・新時代開拓臨時交付金）	復元整備が進む史跡鳥取城跡周辺をはじめ、まちなか観光の振興を図ることで、滞在型観光の推進につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> イベント、ガイドの定期化、観光商品造成への支援（市観光協会補助事業） ①イベント：9/24～25、10/1の3日間 ②ガイド研修：年5回開催し8人参加 ③モニターツアー：9/2（8人）、10/6（10人） 無料公衆無線LAN：令和5年1月～運用開始 鳥取城跡ライトアップ実証事業 9/23～10/10までの18日間実施 	年間を通じて楽しんでいただける観光コンテンツを提供するとともに、受入環境を充実し鳥取砂丘と合わせて楽しめる街なかの観光拠点として磨き上げを図っていく。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	353